

2011年 3 月19日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

高齢者防犯寸劇千夜一夜物語作成活動

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

より多くの人が興味をもって犯罪者の仕掛ける知の罠を知る機会を増やす必要がある。しかし、過去の、講演会などに参加する人は少なく「まさか私が」という意識であり、犯罪に直面して初めて関心を持つようになる。また自分が犯罪にかかったことを隠したがる傾向が強く広く公表する機会もない。そこで多くの人に、犯罪の実際を知ってもらうための施策が必要である。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1 オレオレ詐欺などの犯罪事例を当事者から集める。
- 2 それを寸劇シナリオにして専用のホームページで公開する。
- 3 英文も作り世界に公開する。
- 4 寸劇を実演する高齢者グループを編成し練習と公演を行う。
- 5 寸劇の動画を作るグループを編成し、動画の編集を行う。
- 5 プライベートサーバーに専用サイトを創る。
- 6 動画の寸劇をCDIにして一般に配布する。
- 7 以上のような活動を行う人のネットワークをつくる。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- 1 防犯寸劇の単独公演では観客が集まらない(カラオケは1つも会場一杯になる)。そこで、他のイベントに参加して普及をはかっている。方向が定まったので知名度を上げる努力が必要で、今後も広く宣伝普及をはかる。
- 2 朗読に参加する人は興味をもち、高齢者がなかなか力を発揮している。誰も演ずることには興味を持つ。
- 3 地域には少人数の朗読グループがいくつかあり、これらが防犯寸劇でつながり顔の見えるまちづくりに役立つ。
- 4 <http://www.yumemane.com/senrya1ya> と <http://www.yumemane.com/1000> を作った

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- 1 世界の民話の多くの内容が社会の正義を普及するための防犯寸劇である。現代版民話として世界に防犯の知を公開することは日本の文化を紹介することになり民族間の信頼を築く。インターネットの威力といえる。この施策は日本の民衆による国際交流の文化事業として意義を持つことが分かった。英語版などのサイトをつくり広く世界に普及することにした。
- 2 この活動が広く普及してゆくことを期待して、海外にも広く宣伝していくことにしたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ホーミング

- ① <http://www.yumemane.com/senrya1ya>
- ② <http://www.yumemane.com/1000>